

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (3) 農林業の振興

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

■基本施策が目指す姿

農林業の担い手が、効率的かつ安定した経営を営んでいます。

■関連する分野別計画

■成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	R1	R2	R3	
1	新規認定農業者及び認定新規就農者の数	人	-	-	0	3	6	10		10
2	6次産業化や農商連携に取り組む認定農業者数	人	10	H27	10	10	10	10		15
3	利用間伐施業面積(累計)	ha	-	-	74	152	200	255		300
4										
5										

■市民アンケート調査

項目			現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	農業・林業が盛んに行われている	重要度	0.93	0.78	0.77	
		満足度	▲ 0.38	▲ 0.39	▲ 0.17	
2		重要度				
		満足度				
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				
5		重要度				
		満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	畜産競争力強化対策など「農業経営の安定化」は、順調に推進できており、個別判定をAとしている。人・農地プラン作成など「農業経営体の育成・確保」並びに亀山ブランド創出など「高付加価値農業の展開」は、まずまず推進できており、個別判定をBとしている。「林業経営の安定化」は、生産活動の支援など、まずまず推進できており、個別判定をBとしている。 基本施策に設定した成果指標3指標の内、2指標において実績が伸びており、基本施策が目指す姿にまずまず近づけることができていると考えられることから、総合判定をBとした。
反省点・課題	
高齢化による担い手不足、耕作放棄地の拡大、輸入農産物の増加等、農業を取り巻く環境が非常に厳しくなる中、人・農地プランの作成、農業の担い手の育成をさらに進める必要がある。また、プランディングや「スマート農業」など稼げる農業の支援など、農業経営の安定化に向けた取り組みをさらに進める必要がある。 林業においては、森林所有者の森林整備に対する関心・意識が薄れてきており、相続などにより所有森林所在地の不知、境界が不明などの理由から、林業事業体や市が森林整備を行うための合意取得などに時間と労力を要するなど、森林施業の集約化・団地化が困難になっている。	

今後の展開方針

地域農業の維持・発展を図り、農業の担い手の育成・確保と農業経営の安定化を図るため、有害鳥獣駆除対策、畜産業への支援を継続して実施するとともに、地域での人・農地プランの作成をさらに支援していく。また、農地の集積やデジタル技術を活用した「スマート農業」導入などによる効率化や農作物のブランド化など高付加価値農業の展開による稼げる農業への支援を進める。

林業事業体の生産活動に対し、引き続き支援を行うとともに、森林経営管理事業を着実に進めることで、事業量確保による林業事業体の経営の安定化と適切な森林の管理に繋げていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 農業経営体の育成・確保						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	地域農業の維持・発展を図るため、川合地区、昼生地区において、人・農地プランの作成を支援、協議を進めた。		評価	人・農地プランについては、川合地区で作成が完了し、今後の農業経営体・後継者の確保ができた。また、昼生地区では、広域的な作成について引き続き支援を行う。また、生産調整対策事業では、営農組合等による計画的な取り組みのもと、安定した生産調整が行われ、施策はますます推進できている。	
		生産調整対策事業については、コロナ禍で説明会が実施できなかったが、電話等で個別対応を行った。				
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	6075	人・農地プラン作成事業		標	154 / 54	B B
	6076	農業人材力強化総合支援事業		標	0 / 0	D D
	6014	団体支援事業 (生産調整対策事業)		標	11,310 / 10,644	A A
事業以外の取組	内容					活動 成果

施策の方向② 農業経営の安定化						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A		活動	畜産競争力強化対策については、県、事業者と連携して、畜産パーククラスター計画に基づき離乳舎の建設を進めた。 有害鳥獣対策については、猟友会と連携して取り組んだほか、電気柵などの被害防止対策補助金についても地域への周知を行った。	評価	畜産競争力強化対策事業により離乳舎建設を行い、畜産力強化を図ることができた。令和3年度に、さらに肥育舎及び浄化槽の増築を予定しており、継続して支援を進めていく。また、有害鳥獣対策の捕獲も猟友会と連携を図り、農家への被害防止対策補助により被害軽減が図れており、施策は推進できている。	
順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	19011	畜産競争力強化対策整備事業		主	66,260 / 55,821	A A
	6009	有害鳥獣対策事業		標	30,348 / 27,440	B B
	6007	一般事業(農業振興事業)		標	8,026 / 7,216	A A
	6098	団体営かんがい排水事業		標	1,430 / 1,430	A A
事業以外 の取組	内容					活動 成果

施策の方向③ 高付加価値農業の展開							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
C	活動	新型コロナウイルス感染症防止のためイベントが出来なかったが、市の特産である亀山茶を知ってもら一つとして成人式参加者への配布、出前講座によりPRを行った。また、農商工連携により、新たな特産品の発掘から販路確保までの事業を展開するため、亀山市地域ブランド推進協議会を中心に協議を行った。		評価	新型コロナウイルス感染症防止のため青空お茶まつりが中止となる中、成人式での亀山茶配布、出前講座の開催等、限定的な方法ではあったが、お茶のPRを行うことができた。また、農商工が連携して亀山ブランド創出に向けた取り組みを進めることができたが、施策はあまり進んでいない。		
あまり進んでいない							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	6035	特産振興事業		標	1,301 / 482	C	C
	6069	ふれあい農園管理事業		標	755 / 493	B	B
	6052	中山間地域活性化事業		標	200 / 200	C	C
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向④ 林業経営の安定化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	林業施策の集約化・団地化、利用間伐等を実施した2林業事業体に対し補助金を交付した。森林経営管理事業では、適切な森林の経営管理の推進を図るため森林境界・森林状況調査を実施し、森林組合等団体へ補助金を交付し活動支援した。また、公共建築物(井田川小学校・西野運動公園トイレ改修)の改修時に地域材を利用することで、木質化を促進した。		評価	成果指標である利用間伐施業面積目標値300ha達成に向けて順調に進んでいるが、森林経営管理事業では、境界確定が予定より進まなかった。一方で国・県の造林補助金に加え市の上乗せ補助を行うとともに、森林経営管理事業と公共建築物への地域材利用を進めたことで、林業経営の安定化と持続的発展に向け、ますます推進できている。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17063	林業生産活動支援事業		主	13,500 / 13,500	A	B
	19008	森林経営管理事業		主	21,670 / 21,507	A	B
	6022	一般事業(林業振興事業)		標	932 / 864	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果